

第 11 章 駒林遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

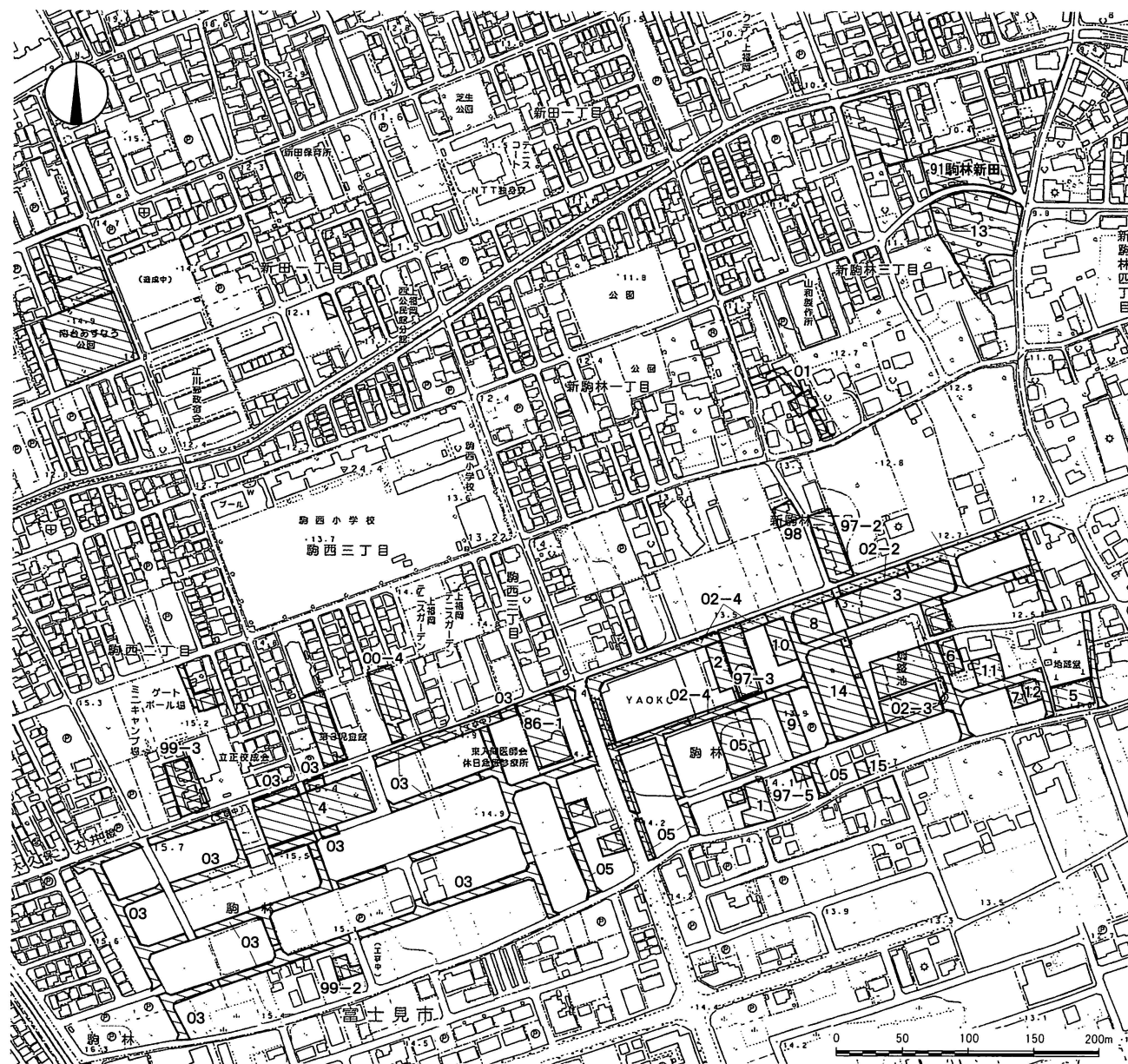
駒林遺跡は、亀居遺跡付近を湧水源とする福岡江川の右岸、武蔵野台地の一段低い立川段丘面に立地し、標高 12 ～ 15 m 前後の平坦地を形成する。もともと遺跡の範囲は南北 300 m、東西 800 m の広大な範囲であったが、2002 年から 2004 年にかけて行なった駒林土地区画整理事業に伴う試掘調査の結果、大半の地域で遺構を確認できなかったため、大溝を検出した南北 160m、東西 80m の範囲に遺跡を縮小し、さらに地下式坑を検出した周辺を駒林新田前遺跡として独立させ、新たな包蔵地として 2004 年 3 月に追加した。

しかし、今回第 3 地点で検出した溝と過去の試掘調査で検出した溝の配置を再検討した結果、一辺 140

～ 160m の台形区画に溝が巡る事が明らかとなり、北側にある葺石と板碑を検出した駒林中世墳墓、東側にある地下式坑を検出した駒林新田前遺跡を統合して駒林とし、2008 年 2 月に遺跡範囲の変更増補を行なった。区画整理後は開発が進み、宅地と商業地に変貌を遂げ、部分的に畑が残っている。

周辺の遺跡は、500m 下流に福岡新田遺跡、南側にも地下式坑を検出した富士見市の稲荷久保北遺跡がある。

2002 年以降の試掘調査の結果、幅 4.2m、深さ 1.7m の大溝や茶毘跡を検出する。周辺の遺跡の様相から遺跡の時期は中世から近世と思われる。



第 90 図 駒林遺跡の地形と調査区 (1/5,000)

第 43 表 駒林遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1 次	駒林字南原 353,354	1986.8.13 ～ 25	1,536	範囲確認調査	平安土器散布他	埋蔵文化財の調査 (Ⅸ)
1992 年度試掘 (1)	大字駒林字南原 341	(1992.9.16 ～ 18)	987	共同住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査 (15)
1995 年度試掘 (1)	駒林字新田前 271-2	(1995.11.8 ～ 24)	231	個人住宅	溝 1	埋蔵文化財の調査 (18)
1996 年度試掘 (1)	駒林本町 153-3,4	(1996.6.10 ～ 13)	231	個人住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査 (19)
1997 年度試掘 (1)	駒林字新田前 266-2	(1997.5.8 ～ 12)	132	個人住宅	溝 1(時期不明)	埋蔵文化財の調査 (20)
1997 年度試掘 (2)	駒林字新田前 223	(1997.5.9 ～ 15)	991	宅地造成	溝 1(時期不明)	埋蔵文化財の調査 (20)
1997 年度試掘 (3)	駒林字新田前 291-1,2	(1997.10.6 ～ 17)	991	診療所	溝 1(時期不明)	埋蔵文化財の調査 (20)
1998 年度試掘 (1)	駒林字新田前 312	(1998.8.10)	234	個人住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査 (21)
1999 年度試掘 (1)	駒林字南原 424-2 の一部 ,20 の一部 ,23	(1999.4.9)	330	個人住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査 (22)
1999 年度試掘 (2)	駒林字南原 394-2	(1999.5.25)	125	個人住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査 (22)
1999 年度試掘 (3)	駒林字南原 420-1	(1999.7.1)	1,322	礼拝堂 (道場)	溝 1(時期不明)	埋蔵文化財の調査 (22)
2000 年度試掘 (1)	駒林字南原 344-2	(2000.1.18 ～ 20)	785	共同住宅	溝 1(時期不明)	埋蔵文化財の調査 (22)
2002 年度試掘 (1)	駒林字新田前 238,240 ～ 242-1 の一部	(2002.6.3 ～ 21)	650	区画整理	溝 8、土坑 7、地下式坑 1	埋蔵文化財の調査 (25)
2002 年度試掘 (2)	駒林字新田前 243 ～ 245	(2002.8.9 ～ 30)	275	区画整理	溝 1、遺物無し	埋蔵文化財の調査 (25)
2002 年度試掘 (3)	駒林字新田前 262-1,263,264 の一部	(2002.8.30 ～ 9.19)	1,120	区画整理	土坑 1、遺物無し	埋蔵文化財の調査 (25)
2002 年度試掘 (4)	駒林字新田前 280 ～ 282-2,290,292-1 ～ 298 の一部	(2002.11.11 ～ 27)	1,150	区画整理	溝 4、遺物無し	埋蔵文化財の調査 (25)
2003 年度試掘 (1)	駒林字新田前 263,273,275(字新田前) 試掘調査	(2003.5.16 ～ 21)	558	区画整理	溝 1	埋蔵文化財の調査 (26)
2003 年度試掘 (2)	駒林字南原 364 外 41 筆の一部 (字南原) 試掘調査	(2003.4.25 ～ 12.22)	7,278	区画整理	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査 (26)
2003 年度試掘 (3)	駒林字南原 409,410 の一部 (字南原) 試掘調査 (区 6-10 号線予定地東端)	(2004.1.21)	292		遺構・遺物無し	15 年度教育要覧
2004 年度試掘 (1)	駒林字新田前 281	(2006.1.7 ～ 24)	1,487	範囲確認調査	溝 1	埋蔵文化財の調査 (27)
1	駒林土地区画整理事業地内 20 街区 4,8,9	2006.7.13 ～ 28	646	共同住宅	堀跡、茶毘跡検出	市内遺跡群 3
2	駒林土地区画整理事業地内 17 街区 7,8 の一部	2006.11.21 ～ 29	421	専用住宅	堀跡検出	市内遺跡群 3
3	駒林土地区画整理事業地内 21 街区 3,4 の一部	2006.11.30 ～ 12.18	1,916	店舗	近世遺構建設	市内遺跡群 3
4	駒林 B 地区 7 街区 3,4	2007.6.11 ～ 13	1,866	共同住宅	縄文：土坑 1	市内遺跡群 4
5	大字駒林字新田前 256 (仮換地指定 30 街区 2)	(2008.4.9 ～ 16) 2008.5.30 ～ 6.28	509	分譲住宅	縄文：集石 3、中近世： 地下式坑 1、竪穴状遺構 25、溝 4、柵列、ビット	市内遺跡群 5、6
6	大字駒林字新田前 248-2 (仮換地 1 街区 27 符号 1)	(2008.8.27)	257	個人住宅	遺構・遺物無し	市内遺跡群 6
7	駒林土地区画整理事業地内 28 街区 5 画地	(2009.2.3) 2009.2.4,5	152	個人住宅	時期不詳の堀・溝跡 2	市内遺跡群 6
8	大字駒林字新田前 245-5	(2009.6.8)	132	個人住宅	遺構・遺物無し	未報告
9	大字駒林字新田前 284	(2009.7.22 ～ 30) 2009.7.30 ～ 8.5	892	共同住宅	縄文：集石土坑 1、土坑 2、 ビット 9、溝 1	未報告
10	大字駒林字新田前 288-1 の一部	(2010.2.17,18)	400	個人住宅	遺構・遺物無し	未報告
11	駒林区画整理事業 27 街区 2,10 画地、 11 画地の一部	(2010.4.12 ～ 21)	689	個人住宅	遺構・遺物無し	未報告
12	駒林字新田前 258-2(28 街区 12 画地)	(2010.7.14)	115	個人住宅	中世～近世：溝確認	未報告
13	新駒林 3-722-1,3,4	(2010.7.27 ～ 29)	927	共同住宅	近世の土坑 2、ビット 11	未報告
14	駒林字新田前 285 ～ 287、288-2,3 (22 街区区内)	(2010.9.1 ～ 8)	2,000	公園工事	遺構・遺物無し	未報告
15	大字駒林字新田前 266-3 (24 街区 12 符号)	(2011.2.16,17) 2011.2.17	115	個人住宅	時期不詳の土坑 1	未報告

Ⅱ 駒林遺跡第5地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2007年5月19日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡南西端に立地し、隣接地では地下式坑や溝を検出しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2008年4月9日から同年4月16日まで行った。幅約2mのトレンチを5本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なったところ、集石や暗褐色土の遺構プラン多数を確認した。遺構の性格を確認するため一部調査したところ、溝跡や地下式坑群であった。遺構確認面まで30cmと浅く、工事による掘削が遺構に影響を与える為、本調査を行なうこととなった。なお、旧石器時代の確認調査はし

ていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ない、試掘調査を終了した。

本調査は原因者と発掘調査に係わる委託契約を締結した上で2008年5月30日から同年6月28日まで、ふじみ野市教育委員会が行ない、縄文時代の集石、中世以降の地下式坑、溝跡を検出した。

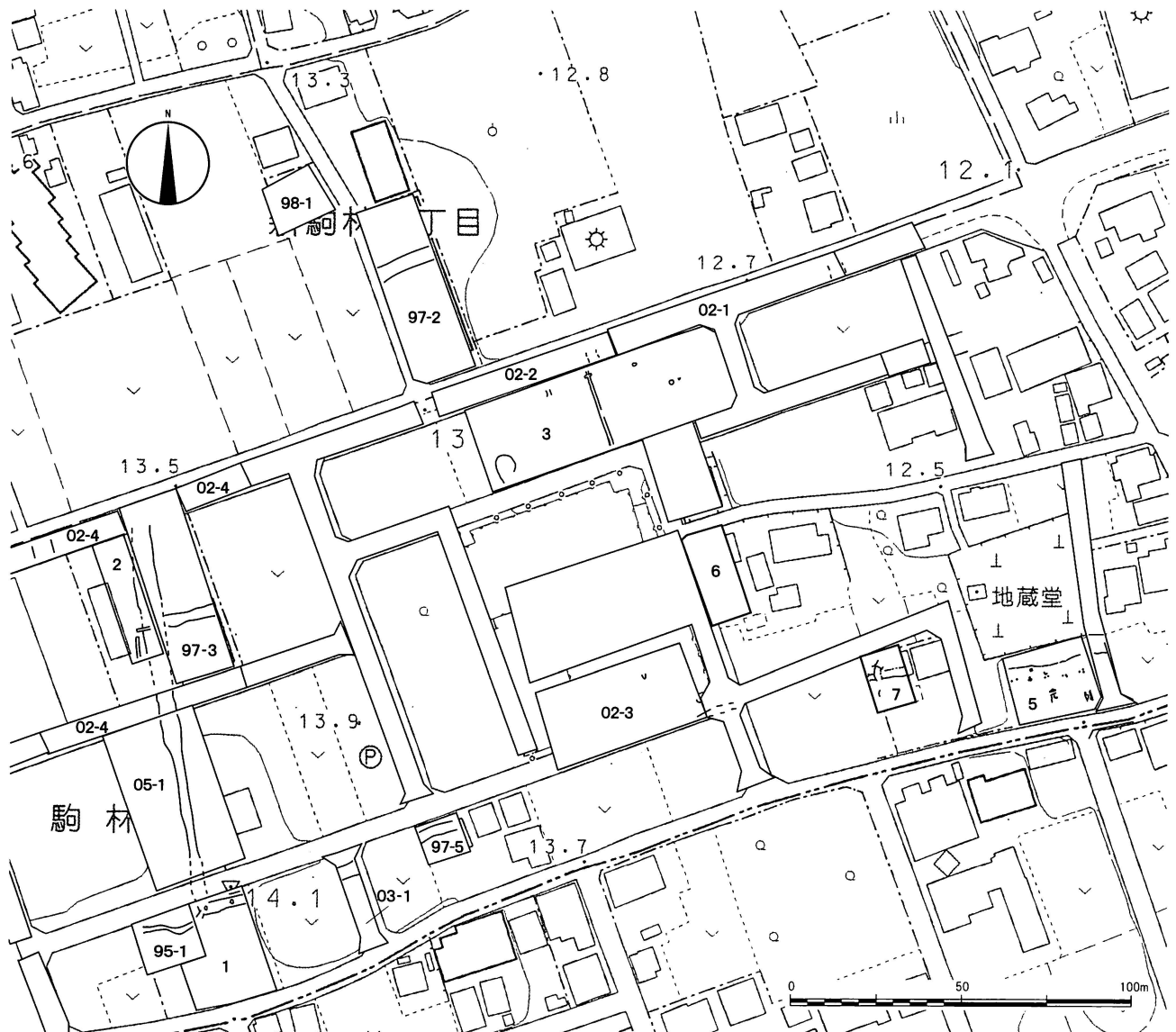
(第Ⅱ部第1章「駒林遺跡第5地点の本調査」参照)

Ⅲ 駒林遺跡第6地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2008年7月24日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡西側に立地するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2008年8月27日に行なった。幅約2



第91図 駒林遺跡遺構分布図 (1/2,000)

mのトレンチを2本設定、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なったが遺構・遺物は検出しなかったため慎重工事とし、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。確認面まで40 cmを測る。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。

【遺物】遺構外から泥メンチが1点出土した。

Ⅳ 駒林遺跡第7地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2009年1月23日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡南端に立地し、大溝の検出が予測されるため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2009年2月3日に行なった。2×2mのグリッドを5ヵ所設定し、人力で表土除去し表面精査を行なった結果、溝跡らしき黒褐色土プランを検出した。確認面まで70 cmを測り、保護層が確保されるため工事立会いとしたが、浄化槽設置箇所のEグリッドと駐車場の北西部分のみ本調査することとした。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。

本調査は2009年2月4日から5日まで、試掘調査で確認した遺構の場所を重機で表土除去後、調査を行なった。調査の結果、時期不明の溝跡2条を検出した。写真撮影・平板測量による全測図作成・遺構図面作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

【溝1】調査区中央に東西方向の溝を11m検出した。本調査区東側の第5地点で検出した溝や、西側の2002年度試掘(3)で検出した溝に連なると思われ、遺跡全体では一辺140～160mの台形区画に巡る溝に連なると思われる。中央で南北方向の溝2と重複し、溝2より古い。溝2は溝1が完全に埋没した後に構築している。

断面形態は「V」字形の薬研堀で、溝は黒褐色土で埋まるが、最上層の土が硬化している。

【溝2】調査区中央に南北から東西へ湾曲する溝を6m検出した。中央で東西方向の溝1と重複し、溝1より新しく、北側で重複する性格不明遺構より古い。溝2は溝1が完全に埋没した後に構築している。

断面形態は「V」字形の薬研で、溝は黒褐色土で埋まる。南側の溝3に連なる可能性がある。

【溝3】調査区南側のグリッド内で検出した。

断面形態は「V」字形の西側が緩やかな片薬研で、溝は黒褐色土で埋まる。

【性格不明遺構】調査区北側に段差20cmほどの掘り込みを検出した。溝2と重複し溝2より新しい。

【遺物】全て遺構外出土。

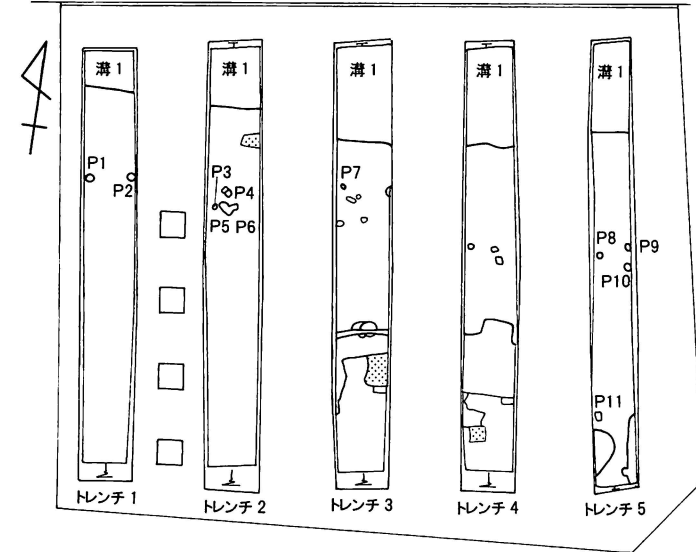
第 44 表 駒林遺跡第7地点遺構一覧表 (単位cm)

No	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
溝1	東西直線11m ～、断面V字形「薬研」	225 ～ 235	62 ～	130	上層に硬化面。溝2より古
溝2	湾曲。断面V 字形「薬研」	180 ～ 200	20 ～	114	溝1より新。性格不明遺構より古
溝3	湾曲。断面V 字形「薬研」	(160) ～	25 ～	66	溝2と連なる可能性有
性格不明遺構		320 ～	～	20	溝2より新

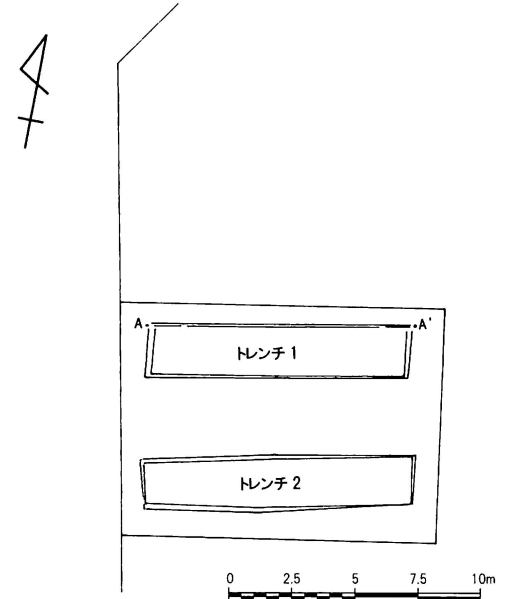
第 45 表 駒林遺跡第6・7地点出土遺物観察表 (単位cm)

図版 番号	掲載 番号	遺構名	種別・器種	口径・長	底径・幅	器高・厚	技法/文様/その他	石材/ 推定生産地	推定年代・時期	残存/備考
92図	1	第6地点・ 遺構外	土製品・ 泥面子	2.5	2.1	0.9	型押成形/達磨。裏面に指頭圧痕/砂粒少量含む/橙色/注 №1トレー括		1790年代～ 1890年代	完形
93図	2	第7地点・ 遺構外	陶器・ ミニチュア	—	1.7	0.5	型押成形/裏面に布目圧痕/透明釉、緑釉/灰白色/砂粒少 量含む/注№H2	京都	17C末～	一部欠
	3	第7地点・ 遺構外	土製品・ 泥面子	—	2.9	0.9	型押成形/「福」字。裏面に指頭圧痕/橙色/雲母、砂粒少 量含む/注№H2		1790年代～ 1890年代	一部欠
	4	第7地点・ 遺構外	土製品・ 碁石?	2.6	2.5	0.9	砂粒少量含む/浅黄橙色/注№H2			完形

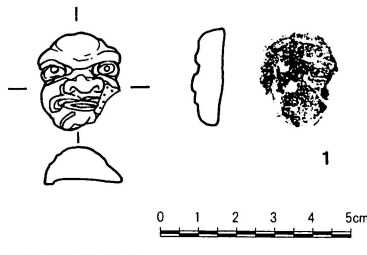
5 地点



6 地点



6 地点



6 地点

1. 盛土 ローム 硬く締る
2. 表土 耕作土 黒褐色土 締り有
3. 攪乱 黒褐色土とローム塊の混合
4. ソフトローム 地山 黄褐色土 やや色は暗い
- 4'. 色は明るくなる

7 地点

7 地点

溝 1 A-A'

- I. 表土・耕作土 黒褐色土 締り有、粘性有、3mm 以下ローム粒少し含む、灰色味がある
- II a. 地山 暗褐色土 締り有、粘性有、地山の漸移層、但し所々 5mm 以下ローム粒少し含む
1. 黒褐色土 締り有、粘性有、2mm 以下ローム粒わずかに含む、斑状に暗褐色土ブロックやや多く含む
2. 黒褐色土 硬化、粘性有、5mm 以下ローム粒少し含む、1mm 以下ローム粒が目立つ
3. 黒褐色土 締り強、粘性有、5 ~ 10mm ロームブロック少し、2mm 以下ローム粒やや多く含む
4. 黒褐色土 締り有、粘性有、3mm 以下ローム粒少し含む
5. 黒褐色土 締り有、粘性有、2mm 以下ローム粒わずかに含む、黒色味は強い
6. 黒褐色土 締り有、粘性有、ローム土を含み色調はやや明るい、3mm 以下ローム粒少し含む
7. 黒褐色土 締り有、粘性有、ローム土を含み色調は明るい、15mm 以下ロームブロックやや多く、5mm 以下ローム粒多く含む
8. 黒褐色土 締り有、粘性有、斑状にソフトロームブロックをやや多く含む

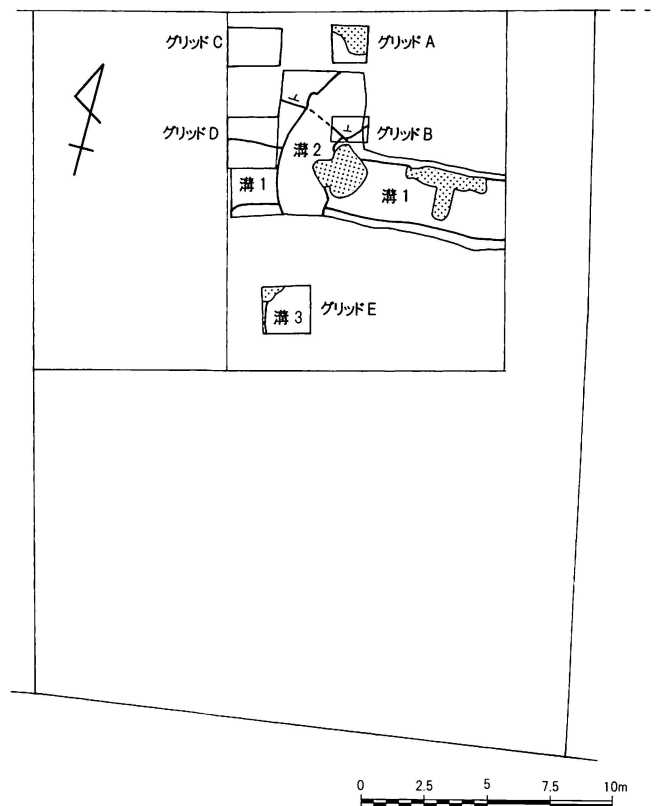
B-B'

1. 黒褐色土 締り有、粘性有、40mm 以下ロームブロック多く含む
 2. 黒褐色土 締り有、粘性有、5mm 大ロームブロック多く含む
- 溝 2 C-C'
1. 暗褐色土 締り有、粘性有、上部に黒褐色土の薄層がのる、10mm 大ロームブロック、5mm 以下ローム粒やや多く含む
 2. 暗褐色土 締り強、粘性有、5 ~ 40mm ロームブロック多く含む
 3. 暗褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒少し含む、粘性の有るシルト質の土が混ざる
 4. 暗褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒少し含む
 5. 暗褐色土 締り有、粘性有、5 ~ 10mm ロームブロック、3mm 以下ローム粒やや多く含む
 6. 暗褐色土 締りやや弱、粘性有、5 ~ 10mm ロームブロック少し含む
 7. 暗褐色土 締り有、粘性有、5 ~ 40mm ロームブロック多く含む

溝 2 D-D'

III a. 黒褐色土混じり

1. 黄褐色土 締り有、粘性有、黒褐色土ベース、ソフトロームブロック主体
2. 暗褐色土 締り有、粘性有、黒褐色土ベース、暗褐色土（ソフト質漸移層土）ブロック主体
3. 暗褐色土 締り有、粘性有、5 ~ 60mm 以下ソフトロームブロック多く、15mm 以下黒褐色土ブロック少し含む
4. 黒褐色土 締り有、粘性有、最大 60mm、平均 5 ~ 15mm、ロームブロックやや多く含む



第 92 図 駒林遺跡第 5 ~ 7 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)、出土遺物 (1/2)

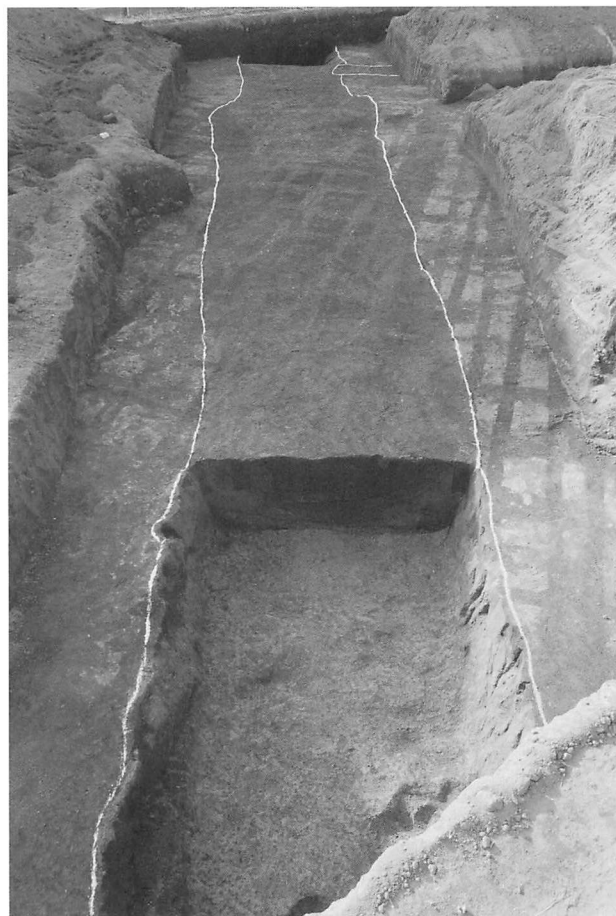
亀久保堀遺跡第 31 地点、駒林遺跡第 5 ～ 7 地点 (1)



亀久保堀遺跡第 31 地点



駒林遺跡第 5 地点試掘調査



亀久保堀遺跡第 31 地点堀全景



駒林遺跡第 6 地点全景



駒林遺跡第 6 地点出土遺物 No.1



駒林遺跡第 7 地点全景



駒林遺跡第 7 地点溝 1 ～ 3